

a 学校教育目標	「自ら伸びる」児童の育成 ～わくわく登校、満足下校～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 自分を愛し、夢を語る児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 夢や目標に向かって、自ら伸びようとする児童を育成する学校 【育成を目指す資質・能力】○知識及び技能 ○思考力・表現力 ○主体性
----------	-------------------------------	----------------------	---

評価計画				自己評価					改善方策	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	改善方策	評価			コメント
					目標達成	目標達成					イ	ロ	ハ	
確かな学力の育成	主体的に学びあう児童を育成する。	○問いの探究・解決に視点をあてた授業改善を行い、児童の思考力・表現力の育成を行う。	児童質問紙肯定的評価の割合 ①「友達の考えと同じところや違うところを比べながら自分の考えを発表した。」 ②「図や表、数直線図などを使って、友達に伝えるように自分の考えを説明している。」 ③「友達の意見を聞いて、自分の考えが深まったり確信がもてたりした。」	80%										
		○各種学力調査に向けた対策や、算数科の思考力・判断力・表現力のテストの分析を通して、学力の向上を図る。	①標準学力調査 全学級全国平均値以上(1～3年は+5P, 4～6年は+3P) ②単元末テスト 思考力・判断力・表現力等 学年平均通過率 80%以上	①1～3年 +5P 4～6年 +3P ②80%以上										
豊かな心・健全な体の育成	○様々な人や事象との関わり合いを通して、豊かな人間性と健全な体を培う。	○児童の基礎的生活習慣の確立を図り、自己肯定感を向上する。	○沼田西小学校『五つの宝』の取組や、自己有用感を育てる特別活動を充実させ、児童の自己肯定感、共感的な人間関係、規範意識を培う。	児童質問紙肯定的評価 (1)「自分のことが好き。」 (2)「自分には相談できる人や助けしてくれる人がいる。」	90%									
		○友達や故郷を愛する心情を育てる。	○地域と連携し、地域の宝を生かした取組を推進し、郷土を愛する心や、地域の役に立ちたいという児童を育成する。	児童質問紙肯定的評価 (1)「沼田西町のためになることをやってみよう。」	90%									
		○健康で活力ある生活を送るための基礎を培う。	○全校外遊びや授業でのACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)を励行するとともに、体育的な特別活動を工夫して行う。	①児童質問紙肯定的評価 (2)「体を動かすこと(運動)が好きである。」 ②肥満傾向にある児童数を8人以下	① 80% ② 100%									
信頼される学校づくりを推進する。	○保護者の願いに応え、信頼される学校づくりを推進する。	○不祥事防止の徹底	○意識向上を図り、自分事として考える研修の実施	不祥事0(ゼロ)	100%									
		○協働的な学校運営	○年間計画表を指標として、主任の機能化と部会の活性化を図り、PDCAサイクルにより協働的な学校運営を行う。	教職員自己評価肯定的評価 (1)「2部会などで自分に任された公務に積極的に取り組んだ。」	100%									
		○教職員が健康でやりがいをもって勤務できる働き方	○組織的に業務改善を推進する。	時間外在校時間45時間以内の職員の割合	100%									

【j:自己評価 評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

【i:学校関係者評価 評価】
イ:自己評価は適正である。
ロ:自己評価は適正でない。
ハ:分からない。